

# 商 团 連

第336号

平成26年10月1日

1部 50円

発行所  
全国卸商業団地協同組合連合会  
東京都港区虎ノ門1-8-10  
セイコー虎ノ門ビル2階(〒105-0001)  
電話 03-3591-1251(代表)  
編集発行人 平澤和人



全体会議



グループ討議



懇親会

# 平成26年度 第1回 事務局長会議開催！

## 就任のご挨拶



会議終了後、会場を移し懇親会が行われた。懇親会には、佐々木浩鹿児島県副知事、松木園富雄鹿児島市副市長、永田福一鹿児島県議長、山口治商工中金鹿児島支店長が来賓として出席され和やかな歓談が行われた。

**福井 弘 新会長プロフィール**

商團連第9代会長  
昭和18年8月20日生 出身地 広島県  
(協)ベイタウン尾道 理事長  
株式会社 福井亀之助商店 代表取締役社長  
業種 総合包装資材、物流システム機器卸  
尾道商工会議所会頭

この度、会員の皆様のご推薦をいただきまして、全国卸商業団地協同組合連合会の会長に就任いたしました。誠に光栄であると同時に、その任務の重さに身の引き締まる思いでございます。  
前任の尾池良行様は、皆様ご承知のとおり数々の実績を挙げられ立派な業績を残されました。その後任を仰せつかる私といたしましては、荷が重いと実感しております。  
中小企業をめぐる経営環境は極めて厳しく多難な状況にありますが、商團連の使命と責務の重大さを肝に銘じ、微力ではありますが卸団地の発展のため最善を尽くす所存でございます。

皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

去る9月18日(木)、鹿児島市の城山観光ホテルにおいて、平成26年度第1回商團連事務局長会議が開催された。

当日は、北は北海道、南は沖縄の全国各地から49団地49名が出席した。はじめに葛永英明代表世話人より挨拶が行われ、引き続き地元鹿児島総合卸商業団地協議会長小正芳史理事長より歓迎の挨拶が行われた。

その後全員協議会が開かれ、はじめに事務局より平成25年度事業および収支報告が行われ、手塚監事(協)横浜マーチャンダイジングセンター専務理事)より監査報告がなされ、審議の結果原案通り承認された。続

いて、世話人の補充が行われ、東北ブロックの新世話人には(協)仙台卸商センターの武田要二事務局長が選出され、九州ブロックの新世話人には(協)福岡卸商センターの小川義典事務局長が選出された。

最後に、商團連及び住友生命より「商團連グループ保険」の説明が行われた。全員協議会終了後、今回の幹事団地である鹿児島総合卸商業団地(協)の幹事団地局長より、団地の概要について説明が行われた。

その後、鹿児島市「維新ふるさと館」特別顧問の福島賢治氏による「薩摩歴史探訪」の講演が行われた。薩摩の地理的・歴史的特性、近代国家建設の中心的役割を果たした薩摩、先人たちの教え、君が代のルーツ(島津日新公による薩摩琵琶・蓬萊山に君が代の歌詞あり)等について説明していただいた。

講演終了後、中小企業基盤整備機構・高度化事業部長の今野高氏より高度化定試験及び卸商業団地機能向上支援事業の説明を受けた。

その後、3つの会場に分かれてグループ討議を行い、各団地の現状、抱えている課題等について意見交換を行った。

グループ討議終了後、各

団地をめぐる課題(団地のあり方、卸売業の戦略)、課題解決のための取組み等について説明を受けた。

昼食をはさみ午後からは、

グループより討議状況の説明を行った。

最後に、次回の幹事団地

会長の今野高氏より高度化

稻森三也事務局長より「来年津でお待ちしております」との挨拶が行われた。

その後、3つの会場に分かれてグループ討議を行い、各団地の現状、抱えている課題等について意見交換を行った。

その後、3つの会場に分かれてグループ討議を行い、各団地

第47回  
通常総会

# 第9代会長（協力役員会長）就任式



尾池会長



**中小機構：高田理事長**

# 中小企業廳：北川長官

商団連の平成26年度通常総会（第47回）が、さる6月25日（水）、東京・紀尾井町のホテルニューオータニ「悠の間」において開催された。

総会は、午後1時30分より開催され、司会者により、会員101名（本人出席63名、委任状出席38名）の出席により、総会成立のための定足数である会員数の過半数を超えているため、本総会は有効に成立した旨宣せられ開会した。

はじめに尾池良行会長が「アベノミクス効果により景気は着実に回復基調にあるといわれているが、中小企業、ことに卸売業においては中近東情勢の不安定化によるエネルギー価格の高騰、円安による輸入原材料や製品価格の高止まりに加えて、消費税率の引き上げによるコストアップ、これを販売価格に転嫁しきれないのが現状である。」「このような厳しい環境にあつて、卸商業団地は単に物流拠点だけではなく、人・物・情報が行き交う交流拠点として地域と一体となつた、安心・安全な街づくりを進めしていく役割が求められている。地域社会において重要な役割を担つている卸商業団地が時代のニーズに応えられるよう、その役割を果たして行きたい」

はじめに尾池良行会長が「アベノミクス効果により景気は着実に回復基調にあるといわれているが、中小企業、ことに卸売業においては中近東情勢の不安定化によるエネルギー価格の高騰、円安による輸入原材料や製品価格の高止まりに加えて、消費税率の引き上げによるコストアップ、これを販売価格に転嫁しきれないのが現状である。」「このような厳しい環境にあつて、卸商業団地は単に物流拠点だけではなく、人・物・情報が行き交う交流拠点として地域と一体となつた、安心・安全な街づくりを進めしていく役割が求められている。地域社会において重要な役割を担つている卸商業団地が時代のニーズに応えられるよう、その役割を果たして行きたい」

して持続的にビジネスを行つていく。事業の持続的発展が大事であるということを基本理念した小規模企業対策で、地域の活性化と小規模事業の発展の両方を図ることを基本的に考える法律です。中小企業の相談窓口として「よろづ支援拠点」を各都道府県に設置した。地域の支援機関と連携しながら、中小企業・小坦模事業者が抱える様々な経営相談に対応するものなので、大いに活用していただき

株式会社商工組合中央  
庫森英雄代表取締役副社  
長は、「燃料コスト高、デ  
レ対策としての危機対応  
に出、経営支援、昇給制度  
活用した経営改善や企業  
生のご支援に取り組んで  
る。政府から十分な融資  
をいただいているので、  
非活用していただきたい  
政府の成長戦略を踏まえ  
成長・創業のご支援にも  
り組んでいる。4月から  
ロバーニッシュトップ支  
貸付制度をスタートさせ

年度経費の賦課金徴収（案）について承認を求める件、第4号議案||役員起酬決定の件、第5号議案||借入金残高の最高限度額の再承認を求める件の4議案が一括上程され、栗原専務理事がそれぞれの内容を説明し、審議された結果、いざれも原案どおり承認されたり。続いて、第6号議案||理事・監事任期満了につき選考方法を議場に諮つたところ満場一致で選考委員会にて取扱はれた。是れに付し、支拂い度を元貸アーフフ長

新旧会長よりそれぞれ挨拶が行われ、通常総会は終了した。  
新役員は以下の通り。

と開会の挨拶をされた。  
引き続きご臨席いただき、  
た来賓の方々より挨拶が行  
われた。

い  
施策課題への対応。3つ  
は、小規模事業者に焦点  
あてた政策課題への対応  
す。政府の政策展開に貢  
する又且みを進める二

いて監査した結果、財産管理・収支の処理・予算の執行・業務についていずれも妥当と認められる旨報告が

考結果を議場において報告した。議長が選考結果について諮つたところ、満場一致で承認された。

独立行政法人中小企業基盤整備機構高田坦史理事長は、「第3期の中期計画、新たに5ヶ年計画のスタートを切り、重点課題を3つ定めた。1つ目は、東日本大震災の復興の加速、福島再生への対応。2つ目は、日本再興戦略をベースとした新成長戦略に掲げられた

# 第1号議案||平成25事 長基島本つ「 だし 報告・財産目録・貸借対 表・損益計算書並びに剰 金処分（案）について承 を求める件

(協)、九州ブロック八頭司正典(協)福岡卸セ、シタレ)、連合会等員外監事承認  
II栗原眞(全国卸商業団地協同組合連合会)の9名  
が選考委員に選ばれ、別室において選考委員会が開か  
れ、吉木学選考委員長が  
進行で理事が選考され、委  
任を受け平澤事務局長が選  
出の向日一度セ

頭ノ事団名至がか姿委達	松本修平
(協)小谷野和博	(高崎卸商社街
アン(新任)	川越バンテ
地協(新任)	栗山直樹
清康夫(小田原卸商業団	センターセンター)
櫻井幹一郎(協)静岡流通セ	(協)山梨県流通



## 講師：長谷川幸洋氏

# 講演会

講師 長谷川 幸洋氏  
演題 どうなる日本の

通常総会終了後、午後3時より、東京新聞・中日新聞論説副主幹、ジヤーナリスト、作家である長谷川幸洋氏による講演会が行われた。演題は「どうなる日本の政治と緊迫する対中・韓関係」でした。

長谷川幸洋氏は千葉県の出身で、慶應義塾大学経済学部を卒業、1977年

に中日新聞社に入社。東京本社（東京新聞）経済部勤務、ブリュッセル支局長などを経て論説委員、2010年から現職。2006年～2009年に政府税制調査委員、2005年～2008年に財政制度等審議会臨時委員など歴任。

2007年から日本記者クラブ企画委員、2012

伊藤 淳藏	(協)金沢問屋セントナー
吉木 学	(協)新大阪センティシテイ
松本 啓	(協)米子総合卸センター
米原 健二	(協)松江卸センターラー
小椋 徹範	(協)津山卸センターラー
町田 貴	(高知卸商センターアル)
ターゲス(株)	(会員名簿順に記載)
監事	(協)橘高 克和 (佐世保卸団地ターラー)
桑原 功	(協)秋田卸センターラー
日向野 陽	(協)下館綜合知センターラー
猪瀬 安次	(オーエスビジネス)

# 懇親會

年から大阪市人事観察委員会委員長、2013年から政府の規制改革会議委員など多数の公職を務めている。

日本の政治の現状、日本を取り巻く周辺各國との関係について、テンポよくわかり易く解説いただいた。



# 細田博之衆議院議員

対策議員懇話会の会長で、衆議院議員・自由民主党幹事長代行である細田博之先生、中小企業庁次長の横田俊之氏よりご挨拶をいただきた。中小企業基盤整備機構理事の陣山繁紀氏に乾杯のご発声をお願いした。

5期10年にわたり会長を務めた尾池前会長より退任の挨拶も行われ、和やかな

---

れん、原田憲治、盛山正仁  
赤澤亮正、小林史明、福山正  
守、塩崎泰久

衆議院議員（代理）  
鈴木俊一、田所嘉徳、小  
渕優子、門山宏哲、上川陽  
子、江崎鐵磨、谷 公一、  
後藤田正純、井上貴博、新  
開裕司、保利耕輔

参議院議員（本人出席）  
小坂憲次、宮沢洋一、太

先の総会において役員改選が行われ、会長が交代したことから、改めて正副会長の紹介を行つた。

その後、新会長に就任した福井会長（9代目会長）より開宴の挨拶が行われた。

歓談の後、全国卸商業団地厚生年金基金の齊藤英雄理事長に締めていただいた。

当日の主な来賓は次のとおりです。（敬称略）

▽全国卸商業団地対策議員懇話会

衆議院議員（本人出席）  
細田博之、津島 淳、福

# 銀商業田地協同組



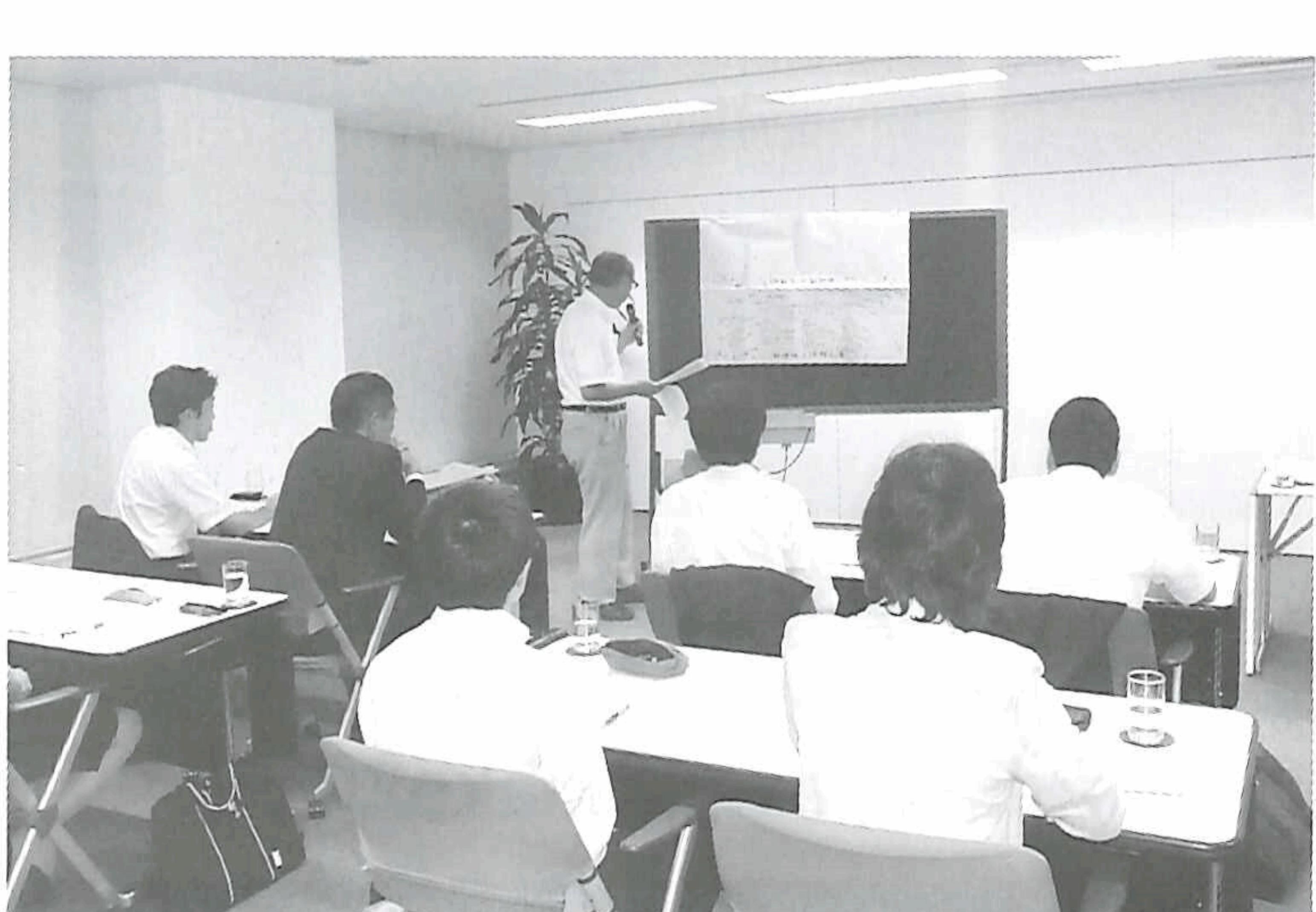
中小機構 · 陳山理事



中小企業處・橫田次長



正像圖



### グリープ討議登場

講義内容	講師
組合運営～ビジネスチャンスの拡大について	中小企業診断士 清水 透氏
グループ討議 知因地制宜の活性化～地域産品の販路拡大	中小企業診断士 清水 透氏

講義内容	講師
事例発表 「みちのく総合商社」～新たな販売戦略	(協)横手卸センター 豊巻 真也氏
「ネットショッピング」～Web版どっと楽市	高崎卸商社街(協) 事務局長 田中 政貴氏
卸団地運営に活かす最新のインターネット 活用術について	株式会社スプラム 代表取締役 竹内 幸次氏
組合の地域貢献戦略と今後の組合事業の展 望について	明治大学政治経済学部 教授 杉下 正氏

グループ討議においては4人で1つのグループをつくり、8グループに分かれて討議を行つた。グループ討議は、メンバーを入れ替えて2回行われ、活発な意見交換が行われた。他の団地の取組みや課題等を具体的に聞き、意見交換する機会を得て大変参考になつた他団地との情報交換ができてよかつたとの感想をいただいた。

受講者に対するアンケート調査の結果、97%が今回の研修に参加して満足と回答があつた。

26年9月4日(木)、5日(金)  
の2日間にわたり、東京都  
千代田区の商工会館において  
「卸団地組合職員研修  
会」が開催された。  
今回で3回目の開催である。  
卸団地においては、設立

以来多くの年月を経過し、組合事務局及び組合員企業で世代交代が進み、組合の求心力の低下や組合への帰属意識の希薄化が懸念されており、組合の活性化が求められている。

そこで、組合事務局職員

の知識・能力の向上を図り組合員にとつて有意義な組合活動を行える人材の育成及び卸団地間職員のコミュニケーションの円滑化を図ることを目的として実施した。研修会には29団地から32名（男性25名、女性7名）の組合職員が参加した。研修内容は下記の通り。

**全国から32名参加**

